



# 外部人材を活用し、農地・暮らし・つながりを守る

## ゆめ豊か～下塚田（宮崎県日南市）

- 下塚田地区は、宮崎県南部の太平洋に面する日南市の細田地区に位置し、中山間地の特性を生かし、水田での米麦栽培による高度利用と需要に応じた多様な柑橘栽培による農業の所得向上が行われている。
- 人口減少と高齢化により、地域における農業生産振興や自治会活動等の縮小が懸念される状況である。農用地保全や生産振興の面では、担い手・後継者確保が喫緊の課題となっている。
- 地区では、中山間地域直接支払制度（平成12年～）及び農地・水・環境保全向上対策（平成19年～）に取り組んでおり、さらに平成25年から地域貢献活動隊「有志隊」が活動を開始。（令和2年には下塚田ふるさと応援隊に）様々な組織が連携して、農村を守っている。

### 【地区概要】

- ・ 取組面積：19.7ha  
（田 19.0ha、畑 0.7ha）
- ・ 資源量：水路 7.9km、農道 3.1km、  
ため池 0箇所
- ・ 主な構成員：農業者、農事組合法人、  
自治会、消防団、女性会、  
水利組合 等
- ・ 交付金 約 1.7百万円（R6）

〔 農地維持支払  
資源向上支払(共同、長寿命化) 〕

### 地域の状況や課題

- 下塚田地区の総人口は令和7年4月1日調査時点で122人。15年前から25%程減少している。
- また、高齢化率は60%台と人口減少が進み、担い手不足やつながりの希薄化、自治機能低下が大きな課題となっている。

### 地域コミュニティ維持のために活動

- 日南市の「地域を創る交付金」の事業において、（多面）ゆめ豊か～下塚田が中心となって5月にこいのぼり祭り、秋にコスモス祭りに取り組んだ。
- 小学校に無地の鯉のぼりを寄贈し、子どもたちに自由にペイントしてもらった作品を掲揚した。また、コスモスの植栽も子どもたちとともにいき、自然に親しむ貴重な体験の機会となった。

### 地域における農村RMOの取り組み

- 平成25年から、地域貢献活動隊「有志隊」が活動を開始。生活支援・景観・農地保全等に取り組む。
- 令和2年に「下塚田ふるさと応援隊」として正式組織化し、外部人材の協力で活動を拡大。財源確保型の環境保全活動を行う。河川堤防や道路の路側帯及び草刈り作業を主に活動。
- 集落において過疎、少子高齢、担い手不足が深刻化する中、「下塚田ふるさと応援隊」で協議を重ねる。
- 同じ日南市内で農村RMOに取り組んでいる酒谷地区のサポーターに協力を依頼し、令和6年度から農村RMOモデル形成支援事業に取り組むことに。農用地保全、地域資源活用、生活支援の3分野で計画・試行を開始。
- 宮崎市などに住むゆかりのある人も構成員に。その他にも外部の人材を積極的に受け入れて活動を発展。

### 取組の効果

- 毎月2回の定例会を開催し、地域・組織内のコミュニケーションが活発に。
- 地域内外の交流人口の創出および地域資源の経済的価値向上を目的に「第1回 田んぼあぜ道軽トラ市 in 下塚田」を開催。1,890名もの来場者を記録し、交流人口・関係人口を大きく増やすことに成功。
- 回覧板を電子化し、従来の回覧板より短時間で情報伝達が可能に。
- 日南レモンの地域ブランド創造・確立を目指してレモン生産組合を設立。東京でレモンの試食・販売会を行うなどPR活動を実施。
- 草刈りが困難な住民に代わっての草刈り作業も行っている。

**課題**  
担い手不足やつながりの希薄化、自治機能低下が大きな課題

**Step1 (H12)**  
**中山間地域直接支払**  
・中山間地域直接支払に取り組む。

**Step2 (H19)**  
**農地・水・環境保全対策**  
・平成19年から「農地・水・環境保全向上対策事業」により活動組織「ゆめ豊か〜下塚田」を設立  
・主に平場の水田や付帯施設（農道、用排水路等）の維持管理を実施

**Step3 (H25～令和元年)**  
**「有志隊」の活動**  
・地域の7名が集まり、任意活動隊「有志隊」として地域貢献活動を開始  
・地域内の生活全般に関わる支援作業のほか、景観保全や農地保全などの多様な地域課題の解決に取り組む

**Step4 (R2)**  
**「下塚田ふるさと応援隊」を設立**  
・「下塚田ふるさと応援隊」として正式に組織化し活動開始。河川堤防や県道の路側帯・法面の草刈り等を行う。

**Step5 (R6～)**  
**農村RMO形成支援事業に取り組む**  
・農地保全や農業生産、自治会活動等をこれまで以上に推進する目的。  
・多面活動組織「ゆめ豊か〜下塚田」は構成員となり、農地保全を担う。

令和元年ごろ、「有志隊」の活動を、より体系的・継続的に進めるための組織化の機運が高まる

**農村RMOと連携した活動に向けて**  
・農村RMOの構成員となったことにより、多面的機能支払交付金の活動を農村RMOが支援する仕組みを計画していく。令和8年度には農村RMOが機械をリースして、法面草刈りのデモを行う計画。  
・多面の活動組織が以前から開催しているコスモス祭りを、令和7年度は下塚田ふるさと応援隊と連携して開催。以前よりコスモスを植栽する範囲が広がり、祭りの参加者も大きく増加した。



軽トラ市の様子



**田んぼあぜ道軽トラ市**

- ・地域内外の交流人口の創出および地域資源の経済的価値向上を目的に開催。
- ・全国でもめずらしく、周囲に商業・公共施設がない「農道や畦道」で開催したが、4時間の間に1,890名もの来場者を記録。
- ・地域資源の活用および交流人口・関係人口の創出において明確な成果を示すとともに、その場所（農道や畦道）にこそ価値があることを証明。



コスモス祭り